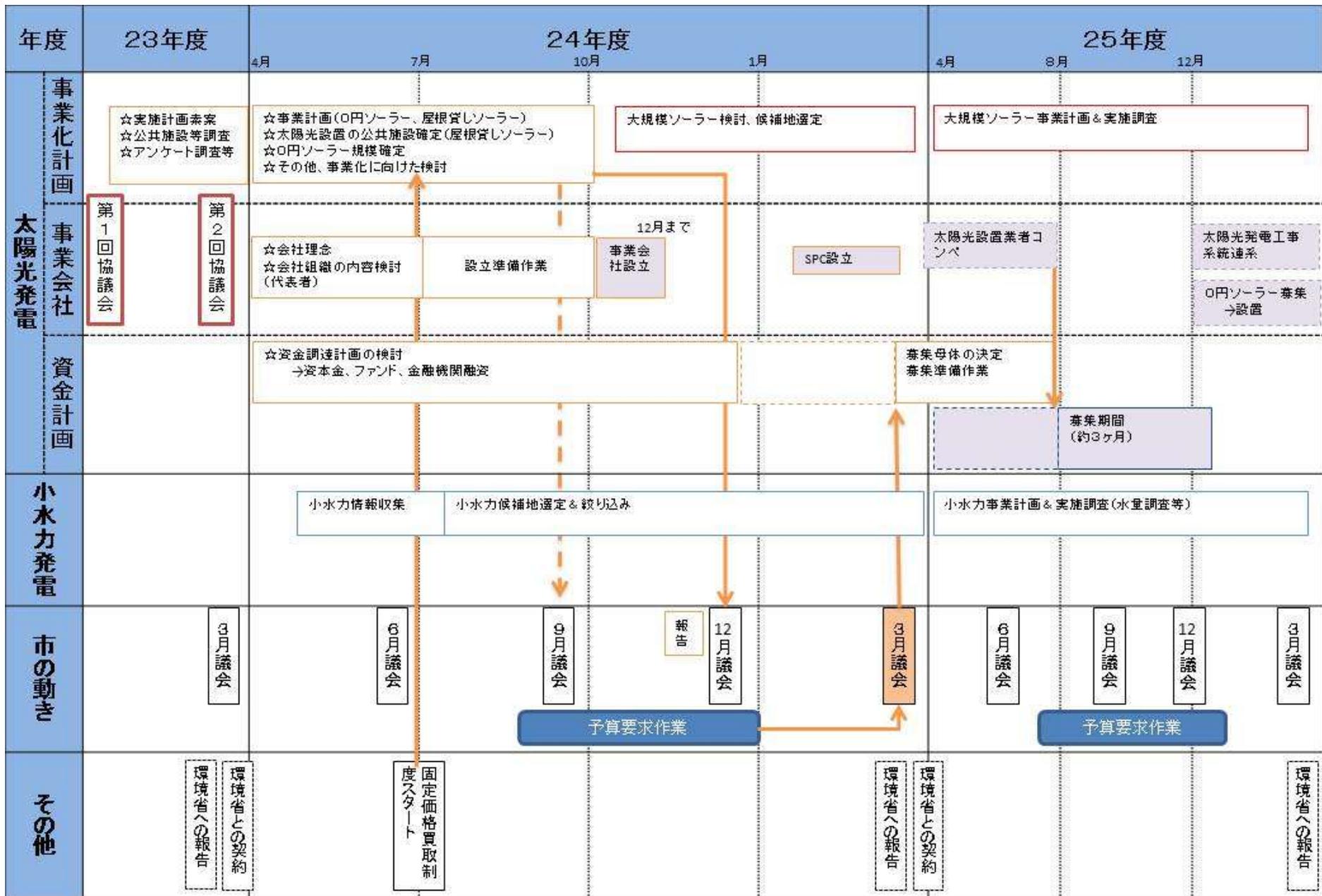


24年度以降の活動方針について

1. 実施計画

薄紫色の網掛け部は事業会社が実施する予定の部分



2. 24年度以降の事業構成案

①太陽光発電の事業化

②太陽光発電以外の再生可能エネルギーの事業化
(→ 小水力発電)

③市民・地元企業の巻き込み

3. 太陽光発電の事業化

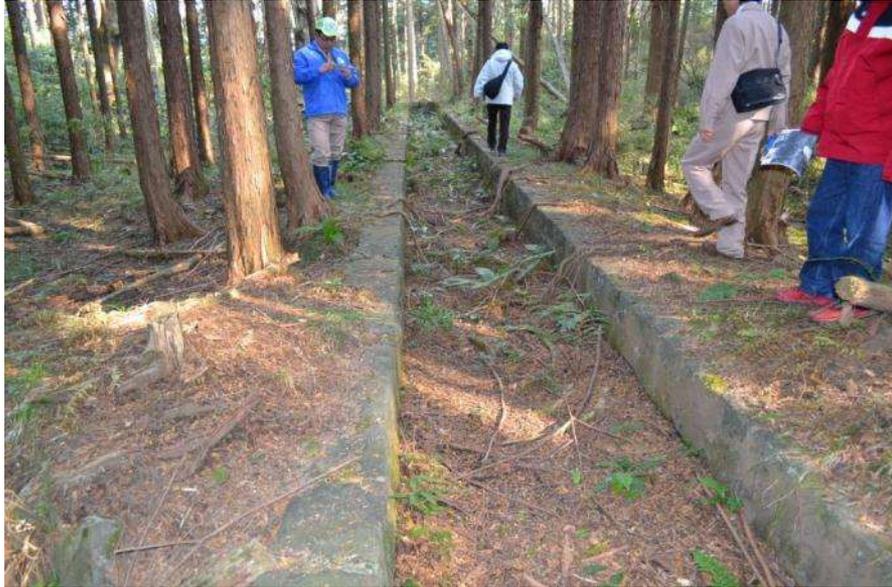
- 今年度の成果を踏まえ、太陽光発電に関する事業化計画をとりまとめ（→25年度からの事業開始）
 - ・パネルの設置場所、事業規模等の確定
 - ・より詳細な事業採算性の分析
 - ・市民出資に関する詳細な検討 等
- 25年度からの事業開始のため、事業会社の設立に向けた検討
 - ・代表者、会社形態、資本金構成等の検討
 - ・会社設立に向けた調査検討
- 事業会社の経営を安定させるための事業展開の検討
- 市内の未利用地を活用した大規模なソーラー発電に関する調査検討

4. 太陽光発電以外の再生可能エネルギーの事業化

- 地域のエネルギー源の多様化の必要性を考えると、太陽光以外の再生可能エネルギーについても事業化の検討を行いたい。

- 様々な再生可能エネルギーのうち、
 - ①本市西部の山間地等でかつて小水力発電がおこなわれていた実績があること、
 - ②3年ほど前に、市内の小水力発電の適地調査を行ったことがあり、候補地がある程度絞れていること、
 - ③夜間でも発電できる比較的安定した電源として期待できること、から、24年度以降、小水力発電の事業化の検討に着手したい。

○かつて小水力発電が行われていた地点について視察を実施（24年1月）



- 24年夏を目途に、「小水力発電事業化検討チーム」を立ち上げ、本格的な検討を開始。（それまでに市役所で候補地に関する情報を整理）
- 同年度中に具体的な候補地を選定。
- 25年度に選定された候補地について詳細な調査を実施し、事業化計画をとりまとめ。

5. 市民・事業者等の巻き込み

- アンケート調査やフォーカス・グループ・インタビュー結果からは、再生可能エネルギーについて市民の関心があるものの、実際の行動につながるイメージしやすい情報が不足していることが示唆される。
- 市民意見交換会のやり方を工夫し、効果的な情報提供、意見交換を行っていききたい。
- 事業者の関心を高め、協力をいただきやすい環境をつくるため、商工会議所等と連携をして、分野別に意見交換を行う機会を設けていききたい。
- 市内の様々な取組や、近隣の地域での取組とも、情報交換を行いたい。